

(2) 教員養成課程の履修について〈教育学部〉

① 教員養成課程について

教育学部教育学科には、幼稚園教諭一種、小学校教諭一種、中学校教諭一種（英語）の教員免許取得を目的とした教員養成課程が設けられている。

教員を志望する者は、教育職員免許法及び本学が定める所定の単位修得のみを考えるのではなく、各科目の成績が優秀であるようにすること、将来教員となる人間としてふさわしい言動や態度を心がけ、高度の良識と豊かな教養を身につけるよう努力することが必要である。

② 教育学部教育学科で取得できる免許状の種類・教科

教育学部	教育学科	幼稚園教諭一種免許状 小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状（英語）
------	------	--

③ 法律に定められている規定

イ、「教育職員免許法第5条別表第1」に定められている規定

所要資格 免許状の種類	基礎資格	大学において修得することを必要とする最低単位数
		教科及び教職に関する科目
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位を有すること	51
小学校教諭一種免許状	学士の学位を有すること	59
中学校教諭一種免許状（英語）	学士の学位を有すること	59

ロ、「教育職員免許法施行規則第66条の6」に定められている規定

日本国憲法2単位、体育2単位、外国語コミュニケーション2単位、数理、データ活用及び人工智能に関する科目又は情報機器の操作2単位を修得していること。

④ 専門科目

＜領域及び保育内容の指導法に関する科目＞

(1) 幼稚園一種の場合

○領域に関する専門的事項

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
健康	幼児と健康	②	○付数字は必修科目
人間関係	幼児と人間関係	②	
環境	幼児と環境	②	
言葉	幼児と言葉	②	
表現	幼児と表現	②	

○保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

科目区分	授業科目	単位数	備考
保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容総論	①	○付数字は必修科目
	保育内容指導法（健康）	①	
	保育内容指導法（人間関係）	①	
	保育内容指導法（環境）	①	
	保育内容指導法（言葉）	①	
	保育内容指導法（表現）	①	

＜教科及び教科の指導法に関する科目＞

(1) 小学校一種の場合

○教科に関する専門的事項

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
国語（書写を含む。）	国語（書写含む）	②	○付数字は必修科目
社会	社会	②	
算数	算数	②	
理科	理科	②	
生活	生活	②	
音楽	音楽基礎	②	
図画工作	図画工作	②	
家庭	家庭	②	
体育	体育Ⅰ 体育Ⅱ（リズムダンス）	② 1	
外国語	小学校英語	②	

○各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
国語（書写を含む。）	初等教科教育法（国語）	②	○付数字は必修科目
社会	初等教科教育法（社会）	②	
算数	初等教科教育法（算数）	②	
理科	初等教科教育法（理科）	②	
生活	初等教科教育法（生活）	②	
音楽	初等教科教育法（音楽）	②	
図画工作	初等教科教育法（図画工作）	②	
家庭	初等教科教育法（家庭）	②	
体育	初等教科教育法（体育）	②	
外国語	初等教科教育法（英語）	②	

(2) 中学校一種（英語）の場合

○教科及び教科の指導法に関する科目

各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
英語学	英語学概論 英語文法論 英語文法演習 言語習得研究	② ② 2 2	○付数字は必修科目
英語文学	英米文学概論 英米文学史 英米文学講読 英米文学演習 海外英語教材比較研究	② 2 2 2 2	
英語コミュニケーション	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語表現Ⅰ 英語表現Ⅱ 英語プレゼンテーション English Writing	② ② ② ② ② 2	
異文化理解	多文化理解概論 文化比較論 グローバル対話論	② 2 ②	
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語科教育法Ⅰ	④	
	英語科教育法Ⅱ	④	

<大学が独自に設定する科目>

(1) 幼稚園一種の場合

授業科目	単位数	備考
保育者論	2	○付数字は必修科目 「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて10単位以上を修得
保育原理	2	
保育課程論	2	
幼児・児童文化	1	
表現演習Ⅰ	1	
表現演習Ⅱ	1	
体育Ⅱ（リズムダンス）	1	
国際理解教育概論	②	
ICT活用教育概論	②	
障がい児保育	2	

(2) 小学校一種の場合

授業科目	単位数	備考
国際理解教育概論	②	○付数字は必修科目
ICT活用教育概論	②	
デジタル教材開発	2	
「チーム学校」と学校組織マネジメント	②	
障がい児教育	2	

(3) 中学校一種（英語）の場合

授業科目	単位数	備考
国際理解教育概論	②	○付数字は必修科目
ICT 活用教育概論	②	
デジタル教材開発	2	
「チーム学校」と学校組織マネジメント	②	
障がい児教育	2	

<教育の基礎的理解に関する科目等>

(1) 幼稚園一種の場合

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	○付数字は必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営概論	②	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	②	
道徳、総合的な学習の時間等の指導、及び教育相談に関する科目	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む)	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）	②	
	幼児理解の理論及び方法	幼児理解と教育相談	②	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法			
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（幼・小）	4	「教育実習（幼・小）」及び「教育実習指導（幼・小）」もしくは「教育実習Ⅰ（幼）」「教育実習Ⅱ（幼）」「教育実習指導Ⅰ（幼）」「教育実習指導Ⅱ（幼）」を選択必修
		教育実習指導（幼・小）	1	
		教育実習Ⅰ（幼）	2	
		教育実習Ⅱ（幼）	2	
		教育実習指導Ⅰ（幼）	1	
教育実習指導Ⅱ（幼）		1		
学校体験活動	学校インターンシップ	2	} これら2科目から1科目を選択必修	
教職実践演習	保育・教職実践演習（幼）	2		
	教職実践演習（幼・小・中）	2		

(2) 小学校一種の場合

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考	
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	○付数字は必修科目	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	②		
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営概論	②		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②		
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	②		
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等の指導法及び教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	②		「教育実習（幼・小）」及び「教育実習指導（幼・小）」もしくは、「教育実習（小・中）」及び「教育実習指導（小・中）」もしくは、「教育実習 A」及び「教育実習指導（小・中）」を選択必修 「教育実習 A」を履修する場合は、「学校インターンシップ」を併せて履修すること
	総合的な学習の時間の指導	総合的な学習の時間の指導法	②		
	特別活動の指導法	特別活動の理論と実践	②		
	教育の方法及び技術	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）	②		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法				
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	②		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法				
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談	②		
教育実践に関する科目	教育実習	教育実習（幼・小）	4		
		教育実習指導（幼・小）	1		
		教育実習（小・中）	4		
		教育実習 A	2		
教育実習指導（小・中）		1			
学校体験活動	学校インターンシップ	2			
教職実践演習	教職実践演習（幼・小・中）	②			

(3) 中学校一種（英語）の場合

科目	各科目に含めることが必要な事項	授業科目	単位数	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	○付数字は必修科目
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職論	②	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育経営概論	②	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	②	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	②	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の指導法	②	「教育実習（小・中）」及び「教育実習指導（小・中）」もしくは、「教育実習 A」及び「教育実習指導（小・中）」を選択必修 「教育実習 A」を履修する場合は、「学校インターンシップ」を併せて履修すること
	総合的な学習の時間の指導	総合的な学習の時間の指導法	②	
	特別活動の指導法	特別活動の理論と実践	②	
	教育の方法及び技術	教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）	②	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法			
	生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論	②	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法			
科目 教育実践に関する	教育実習	教育実習（小・中） 教育実習 A 教育実習指導（小・中）	4 2 1	
	学校体験活動	学校インターンシップ	2	
	教職実践演習	教職実践演習（幼・小・中）	②	

※教育学部教育学科の卒業要件及び履修方法については、教育課程表に示す通りとする。

⑤ 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定められた科目

区 分	該当科目	単位数	備 考
日本国憲法	日本国憲法	②	○付数字は必修科目
体育	体育理論	①	
	体育実技	①	
外国語コミュニケーション	英語 I	②	
	英語 II	②	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	コンピュータ基礎演習	②	

⑥ 介護等の体験

小学校及び中学校の教員免許状取得を希望する学生は、介護等の体験（特別支援学校 2 日間、社会福祉施設 5 日間の合計 7 日間）を行わなくてはならない。介護等の体験は、本学では原則 3 年次に、体験希望者に対してガイダンス及び申し込みを行う。

体験希望者は、社会福祉施設に対する費用を別途払わなくてはならない。（2024 年度は 7,500 円）

⑦ 教育学部教育学科のコースについて

教育学部教育学科では、修得単位数や教育的効果等を考え、以下の 3 つのコースを設ける。

I. 幼稚園教諭・保育士コース

幼児教育の担い手となることを意図し、幼稚園教諭一種免許状と保育士資格の取得を目指す。

II. 幼稚園・小学校教諭コース

保幼小連携を見据えた、新時代の初等教育の担い手になることを意図し、幼稚園教諭一種免許状と小学校教諭一種免許状の取得を目指す。

III. 小学校・中学校教諭コース

初等・中等教育の連続性を深く理解し、グローバル時代の社会で活躍する児童生徒を輩出する人材になることを意図し、小学校教諭一種免許状及び中学校教諭一種免許状（英語）の取得を目指す。